

1. 産業領域

水産品加工業、食品関連物流業、小売・観光サービス業

2. 対象エリア

境港市、米子市及び周辺港湾エリア

<特定理由>

鳥取県の食品関連産業は県内製造品出荷額の約2割を占める基幹産業であり、国内有数の漁獲高を誇る境漁港や国際空港・港湾への近接性といった立地条件を活かして、水産品加工業を中心とした関連産業の集積が期待できるため

水産関係サプライチェーンのイメージ漁港・市場
インフラ整備高度衛生管理型
市場等の整備に
よる受入能力確保冷凍・冷蔵施設
整備冷凍・冷蔵施設の
新設、改修による
処理能力確保加工施設
強化・高度化飲食施設等の
併設による販売
機能強化出荷額・輸出額
増加**3. 目指す姿（目標）****（1）現状の整理**

- 境漁港は水揚量全国第3位、水揚金額約全国第4位であり、また近隣には水産関係企業が多く集積していることから、国内有数の水産基地としてのポテンシャルを有している
- 近年、高品質な日本産水産物への需要の高まりに加え、本県の外国人宿泊者数が過去最高を記録したことから、輸出のみならず域内でのインバウンド需要を取り込める下地が整っている

（2）目指すべき目標

- 官民設備投資額：263億円（R8～R17）
：26.3億円（R17）
- 付加価値増加額：8.3億円（R17）
- 産業人材育成数：50人（R17）

4. 勝ち筋**（1）基本戦略**

- 水産加工品における原料確保の不安定さを解消するため、高度な温度管理が可能な冷凍・冷蔵施設整備や市場機能を強化
- 県内企業が誇る独自加工技術の活用・深化、海外ニーズに合わせた商品開発・販路開拓、地域水産ブランドの認知度向上等による水産加工品の高付加価値化を推進
- 飲食・直販機能を持った施設整備や観光業界との連携による新たな観光消費を創出

（2）目指すべき姿

- 西日本最大級の水産物供給基地としての機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとした高付加価値化戦略の実現による水産業クラスターの確立

5. 政策手段**（1）取組に向けた課題**

- 冷凍・冷蔵施設の処理能力低下等に伴う陸上の処理能力不足
- 大規模設備投資に伴うリスクの高さ
- 高付加価値加工品製造への転換
- AIを活用した在庫管理、輸出対応等の業務を行える人材不足
- インバウンド対応など新たな販路開拓への対応

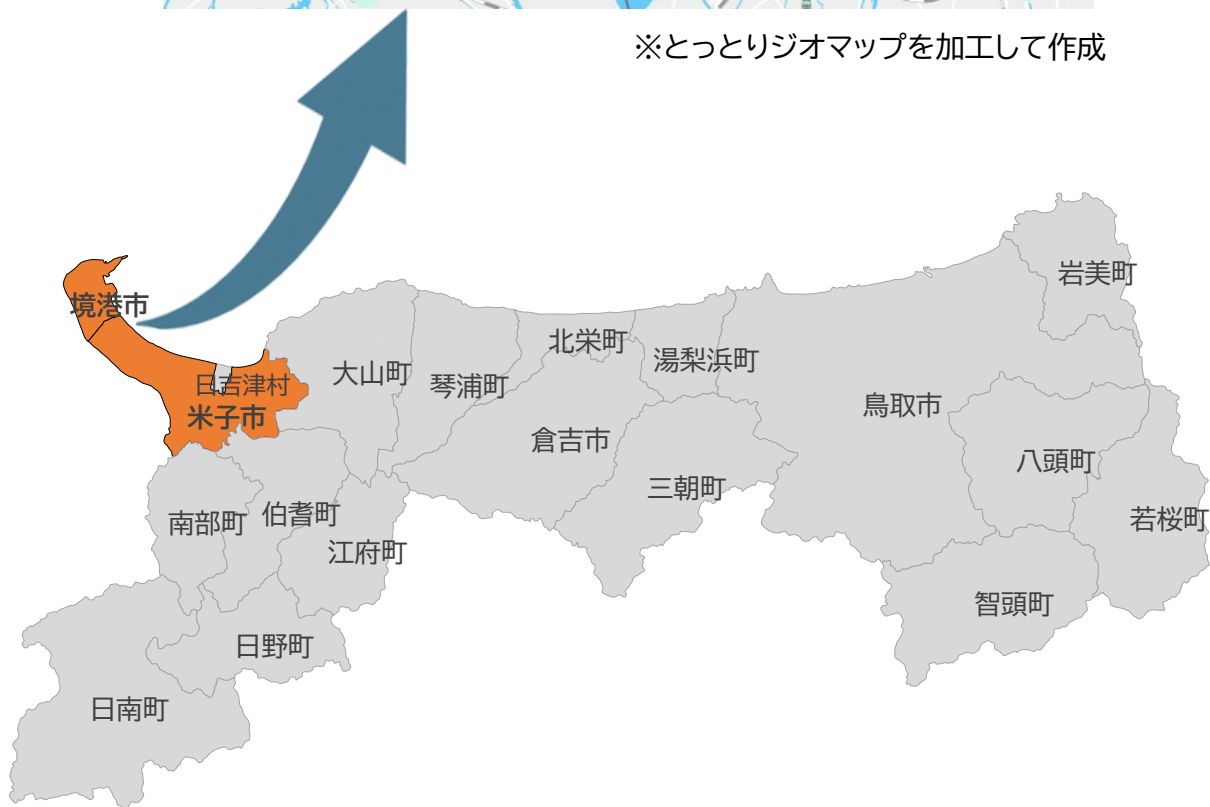
（2）講じるべき政策パッケージ

- 漁港・市場インフラの整備促進
- 各社が実施する設備投資、AX人材育成への支援
- 高付加価値商品開発、観光業界と連携したインバウンドニーズ調査等への支援
- 戦略的な企業誘致の促進

鳥取県 フード・マニュファクチャリング（水産）分野における地域産業クラスター計画の概要



※とっとりジオマップを加工して作成



核となる事業者

株式会社友新、株式会社門永水産

株式会社ホクスイ、株式会社オーク

株式会社ウミライ、株式会社石橋造船鉄工所

友新、門永水産、ホクスイ、オーク【冷凍・冷蔵倉庫、加工施設】



ウミライ、石橋造船鉄工所【漁港インフラ】

